

ひとりひとりに 最適な学びを 放送大学から



改訂教学 Vision2027

これまでの
取組・課題
および
今後の重点方策
について

改訂教学Vision2027の公表にあたって

2022年春、現代の社会変化や技術的進歩に対応し、放送大学の教育をより効果的で学習者ひとりに最適なものとするための改革プラン“教学Vision2027”を発出したしました。

それから3年が経過し、2027年春まで残り2年となった今、具体的な行動指針であるアクションプランの取り組み状況と課題および今後の重点方策の内容を見直した“改訂教学Vision2027”について、新たに公表することにいたしました。

詳しくは
こちらから



放送大学ウェブサイトをご覧ください。

2025年6月5日 放送大学長 岩永 雅也

今後の重点方策について

マスタープラン(基本方針)
アクションプラン(具体的行動指針)
●: 取組状況と課題
今後の重点方策

I. 社会と時代の要請に応える教育改革

1 リカレント教育の拡充による学び直し支援

- リカレント教育の需要分野調査の実施
- 既存コンテンツを組み合わせたリカレント教育やリメディアル教育の履修パッケージ作成・提案

- ・既存コンテンツの柔軟な部分的履修の実現
- ・マイクロレデンシャル(デジタルバッジ)の授与

2 数理・データサイエンス・AI関連の教育強化

- リテラシーレベル、応用基礎レベル、応用レベルの講座、科目、オンライン講座の制作
- 既存科目を元にしたエキスパート整備

- ・エキスパートの学生に向けたPRと関連科目の履修促進
- ・他大学等への科目や教材の提供推進

3 カリキュラム体系再構築および科目制作方法的改革

- 学習利便性を高めるメディア利用と科目制作のDX化
- 生涯学習番組等の正規科目化
- 科目制作におけるコースチーム制活用

- ・多様なメディア利用と合理的・効率的な科目制作とを両立させるメディア別科目構成の新常態を確立
- ・3ポリシーに基づく教育課程の体系化

II. 教育DXの推進とデジタルデバイドの解消

4 ニーズに応じたメディア授業の拡充と多様化

- データによる継続的なニーズ把握
- オンライン授業拡充への体制整備
- 次世代教育研究開発センターでの先端的メディア研究

- ・将来を見据えた科目構成の検討および実施を可能とする学内での検討体制と推進体制の完成
- ・科目制作における合理的配慮の保障

5 単位認定試験のIBT化による科目受講の柔軟化

- IBTの実施、問題作成、信頼性維持、緊急事態対応、デジタル弱者対応などに関わる課題の把握

- ・Webカメラによる本人確認システムの導入
- ・受験中の不正を監視する機能とランダム出題機能の整備

6 デジタルデバイドの解消推進

- Webに対応したスキル習得に向けての支援体制の整備
- 各地でのパソコン入門授業の展開
- 面接授業におけるBYODの積極導入

- ・高齢者、障害者対応のデバイスやアプリの提供
- ・デジタル学習環境のアクセシビリティの改善とBYODのさらなる推進

III. 研究する大学としての機能の充実

7 研究者および大学院教育のための研究環境整備

- 研究支援体制の整備充実
- 科研費獲得のための研修の開催
- 教育研究活動委員会設置とオンラインジャーナル刊行

- ・次世代教育研究開発センター、教育研究活動委員会による研究支援の実施
- ・図書館資料電子化の一層の促進とバーチャル図書館空間の充実
- ・学術論文、研究データへの即時オープンアクセスの推進

8 メディア教育に関する研究機能の充実

- 次世代教育研究開発センターの設置
- バーチャルなメディア教育の研究開発推進

- ・内外研究機関とのネットワーク形成
- ・先駆的授業の企画・制作を開始

9 IRの組織的体系化による教育調査研究の質向上

- 学園IR室の設置
- 教務・学習履歴データ管理体制の整備
- 学習履歴データに基づく学びの可視化ツールの開発

- ・次期WAKABA実装に向け仕様策定
- ・教育体系最適化のためのエビデンスの検討と収集
- ・総合学生調査を毎年実施する体制の整備と結果の分析、活用の推進

IV. 連携機能の充実と社会貢献

10 学び合いと地域連携の場としての学習センター

- 各学習センターにおけるライブWeb授業やハイフレックス型面接授業の開講及び受講への支援
- ラーニングコモンズ等の検討と試行
- ライブWeb授業の推進と受講への学生支援

- ・ライブWeb授業の量的質的拡充
- ・ラーニングコモンズの拡充
- ・多言語学習に向けた面接授業の展開
- ・地域拠点から機能拠点への転換(高機能化とコンパクト化)

11 他大学等との連携・単位互換の推進

- 多様な形態の他大学との連携・単位互換の取組みの拡大
- 高校生対象の先取り学習プログラムの試行的提供

- ・高校の先取り学習プログラム対象校の拡大
- ・4年制大学との垂直的連携の検討

12 国際化と社会貢献

- 海外に居住する日本語母語学習者の受入体制の整備
- 在外邦人学生等が所属する「インターナショナルセンター」の設置

- ・在外学生の受け入れ開始と量的拡大
- ・海外大学との講座共同運用および単位互換制度の実装準備